



開物成務

郡山市立開成小学校

学校便り No.39

平成30年1月19日

文責：校長 伊藤孝行

平成30年度教育課程について 「変わる時」は「変える時」なのです③

今回は、少し先の話になりますが、2020年春から実施される高校入試改革の動向について述べてみたいと思います。

新制度が適用されるのは、現在の中学1年生からとなり、その後続く現在の6年生以下の子どもたちも同様となります。

《主な変更点》

	種別	選抜方法	時期
現行	I期選抜	自己推薦 学力検査無	2月上旬
	II期選抜	学力検査	3月中旬
	III期選抜	面接・小論文	II期終了後
20年春	前期選抜	特色選抜 自己推薦	3月 4～6日
		一般選抜 学力重視	
	後期選抜	面接・小論文	前期終了後

現行では、I期選抜は自己推薦で学力検査がなく、2月には試験が終わっていました。

他の受験生に与える影響や入学後の学力等、課題があったため改善されることとなりました。当然のことですが、高校生としてふさわしい学力が求められます。

小学校では、小学校で身に付けなければならないものを徹底し、中学校での学習に困らないようにし、進路選択の場面では「行ける高校」を選ぶのではなく、「行きたい高校」を選べるようにしなければならないと思っています。

(参考資料：県立高校募集定員数変化)

	1997	2017	2018
安積高校	400人	320人	320人
安積黎明高校	360人	320人	280人
郡山高校	400人	280人	280人
郡山東高校	400人	280人	280人
郡山商業高校	320人	280人	280人
郡山北工業高校	400人	280人	280人

※1997年は安積女子高、郡山女子高
少子化の影響で、年々募集定員が少なくな

っており、来年は、子どもたちに人気の高い安積黎明高校が40人の減となります。

高校、大学等の入試もこれからが本番を迎えます。まずは、万全の体調で試験に臨めるよう願っています。以前にも述べましたように、インフルエンザ予防は団体戦です。家族で一致団結して予防にお努めください。

センター試験が終わりました。

13・14日の2日間、今年度のセンター試験が終わりました。受験生がいらっしやったご家庭は、体調管理等、随分とご心配されたこととご拝察いたします。

センター試験問題の一部が新聞紙上で公開になりました。今年は、例年に増して出題文の長文化が進んでいました。加えて、別の文と比較して読むなど複雑化もしています。

今後もこの傾向は進み、高校入試もその傾向で変化していきます。年々求められる学力が進化しています。小学生のうちから、「長文」を「速く」読む力を育てていく必要を強く感じました。

インフルエンザ広がってきました。

インフルエンザを発症する子どもが増えたため、16・17日の二日間3年2組を学級閉鎖としました。また、その間予定されていました特設クラブの活動も感染拡大を防ぐため中止としました。

今回は、A型とB型が同時に流行しており、両方に感染する子どももいます。

改めて、感染・発症予防のため以下の点につきましてお願いいたします。

① 不要不急の外出はしない。

※ 休み明けの月曜に欠席者が増大しています。週末の過ごし方に注意して他からの感染を防ぎましょう。

② うがい手洗い・マスク着用を徹底する。

③ 十分な睡眠とバランスのよい食事。